



# HAPEE ハッピーメール MAIL

発行：ひろしま産業振興機構 国際ビジネス支援センター  
〒730-0052 広島市中区千田町 3-7-47 TEL082-246-1400

Facebook



ハッピーメール  
バックナンバー



**【Mail Magazine 知っ得情報】**

メルマガでは国、県、市町、産業支援機関等及び産振構の公募イベント助成金情報などのご案内をいち早く皆様にお届け致します(右記のQRコードで閲覧できます。)

※ 毎週木曜日配信



(公財)ひろしま産業振興機構発行

## 上海事務所・世界8都市のビジネスサポーターが、お答えします



台北  
歐 元韻



上海  
胡 晓雯



バンコク  
辻本 浩一郎



ハノイ  
中川 良一



ホーチミン  
石川 幸



シンガポール  
碓 知子



ジャカルタ  
中川 智明



バンガロール  
田中 啓介



ニューヨーク  
蟬本 睦

**サポート内容**

【相談・情報提供】

- アドバイス・相談
- 情報の収集・提供
- 専門機関の紹介

【コーディネート】

- 取引先の発掘・紹介
- 商談設定・現地同行
- 商談のフォロー

**ご利用は無料！！**

まずは当センターにご連絡ください。

オンライン相談にも対応。情報収集や取引先の発掘等、ご活用ください。

海外ビジネスサポーターの  
紹介はこちらから



<https://www.hiwave.or.jp/purpose1/international/foreignoffice/>

ご相談のお申込みフォーム  
はこちらから



<https://ws.formzu.net/fgen/S5529662/>

**\*\* サポート事例 \*\***

- ・現地の輸入規制について
- ・市場動向について
- ・販路開拓について (リストアップ等)
- ・訪問/ウェブ面談のアポイント取り

**CONTENTS**

巻 頭 言	ひろしま産業振興機構 国際ビジネス支援センターの海外拠点	1	
海 外 レポート	ホ ー チ ミ ン	仮装通貨・NFTもベトナム！？	2
	シ ン ガ ポ ー ル	広島のカキとお酒のプロモーションイベント開催	3
		超高齢化を迎えるシンガポールの健康寿命を延ばす取り組み	4
	バ ン コ ク	タイで売られる日本産？フルーツ	5
	ベ ン ガ ル ー ル	ユニコーン企業に見るインドのEコマース市場の最新動向	6
	中国ビジネス Q&A	「春節」における中国	7
お知らせ	ハッピーからのお知らせ	8	

## 「仮想通貨・NFT もベトナム!？」

1992~2005 年はメガバンクで投資銀行業務等の幅広い経験を持つ。2007 年からベトナム・ホーチミン市で創業（海外起業）し、投資ライセンス、法務・労務、M&A など日系企業に提供中。



### <Web3とテック企業>

日本でも、AI（人工知能）と同様に Web3※が日増しに存在感を高めていることと思います。これらを支えるテック企業は、米国のシリコンバレーが有名ではありますが、ベトナムにもテック企業はあります。伝統的な製造業と比べると、テクノロジー分野でのスタートアップはベトナムでの将来性も十分にあると思われます。

### <NFT ゲーム「アクシー」>

写真にある「アクシー」（Axie Infinity）というゲームをご存知でしょうか？



このゲームを開発・運営するのが、ベトナム・ローカル企業の Sky Mavis（スカイメイビス）です。このゲーム、世界で最も人気のある NFT ゲームとも言われており、世界から注目されています。

NFT

(Non-Fungible Token、非代替性トークン)とはブロックチェーン技術を活用したデジタルデータのことであり、NFT ゲームとはそのゲーム中のアイテムやキャラクターが NFT となっており、唯一無二性のあるデジタルデータに裏付けられています。ゲームを通

じてこれらの NFT が獲得でき、Play to earn（遊んで稼ぐ）といわれるように、獲得した仮想通貨の価値を高めていくという要素をゲームに内包していることに特徴があります。

### <Sky Mavis>

先般発表されたスカイメイビスの決算（2021/4/30~2022/3/31）によると、売上は前年比3倍の 177 万 USD（約 2.6 億円）となる一方で、最終利益は▲1,889USD（約 28 億円）でした。赤字額は一般管理費のコスト増大によるものですが、ネット現預金の残高（現預金などの金額から短期債務の金額を控除した残高）は、約 1 億 3,000 万 USD（約 190 億円）と潤沢です。今後、この現預金の活用方法やそのタイミング、アクシー経済圏の確立や発展などが注目されるどころです。

### <日本企業の動向>

輸外型・進出型ともに、日本企業からの問い合わせは活発化しています。進出型の中で一定のウェイトを占めているのが IT 事業者で、いわゆるエンジニアの件費が安いことが背景にあります。日系の IT 事業者がベトナム法人に業務委託したり、応用系のラボ型開発を委託したりすることも多く、さらに現地法人（子会社）を設立して内製化（IT 業務の受託・制作）を推進する事案も従来から多く見られます。

極めて個人的な見解で、現状はまだハードルが高いかもしれませんが、このようなテクノロジー分野における日系企業（日本人）の事業起業家が、ベトナムをスタートアップの地に選ぶという事案も出てくるのではないかと密かに期待しています。

※Web3：ブロックチェーンなどの技術を活用して、ネット利用者がデータを共有・管理しながら運用できる、次世代の分散型インターネット。

本記事は、仮想通貨や NFT の売買、それらを活用したゲームを推奨したり、あるいは、誘導する目的のものではありません。

## 「広島のカキとお酒の

### プロモーションイベント開催」

周辺アジア各国も含め、数多くの市場・企業等調査業務実績を持つ。グループ会社の Crossborder Pte Ltd と二人三脚で、日本企業の M&A、現地パートナーシップ構築を準備段階である川上の調査から実施段階である川下のコンサルティング/アドバイザリーまでのサービスを提供。高い情報収集能力で企業の商談、進出、会社運営をきめ細かくサポート。



日本の生ガキが輸入解禁となって 5 年。日本から生ガキの輸出は増加傾向にあります。解禁直後の 2019 年の輸入量 4,150 キロに対し、2022 年は 12,960 キロと 3 倍近くに増加しました。生ガキの総輸入量は 2019 年の 72 万 4,940 キロに対し、2022 年は 65 万 7,060 キロと約 9%減ですので、日本の生ガキ輸出の伸びが著しいことがわかります。とはいえ、2022 年の日本からのカキ輸入量はシンガポールの総輸入量の約 2.7%。まだまだ伸びる可能性はあります。こうした中、広島産の生ガキとそれにペアリングする日本酒のイベントがシンガポールで開催されました。このイベントは、「令和 5 年度アジア（シンガポール、台湾）向け広島県産かき及び日本酒の輸出促進支援事業」として、広島銀行が広島県から受託したものです。

#### ＜一般消費者向けに広島カキフェア開催＞

開催場所は、シンガポールのオペラハウスと言われるエスプラネードにある Supply and Demand Modern というイタリアン&兼モダンフュージョンのレストラン。ルーフトップバーからはマリーナベイ・サンズが見えるおしゃれ場所です。3月6日から10日の5日間、「HIROSHIMA OYSTER FAIR」と題した一般向けのイベントの初日には、インフルエンサーを動員したこともあり、連日多くのダイニング客が訪れ、濃厚な広島産カキの味を楽しんでいました。

#### ＜商談会で継続ビジネスへの期待＞

3月10日の午後は、ディストリビューターやレストランシェフなどを招待してのテイastingと商談会がありました。レストラン事業者からは「味が濃厚でクリーミー」と高評価だったそうです。広島からカキ事業者6社、酒造会社3社、現地から日本食関連の小売店や輸入業者などの関係者4社が参加しました。来場した現地のバイヤーがテイastingをしながら、対面やオンラインで商談を実施。参加したカキ事業者からは「輸入業者と恒常的な取引に向けて具体的な商談ができた」とのコメントがあったそうです。広島産カキがシンガポールに出荷できるようになったのは、2021年6月にシンガポール食品庁(SFA)から輸出に必要な衛生管理プログラムの承認を受け

てからでした。しかし、コロナ禍で需要が落ち込み、出荷はストップしていました。今回のイベントを契機に、今後の継続的なビジネスが期待されます。



【テイasting用のカキ】



【テイastingをしながらタブレットで商談中】

#### ＜広島空港に輸出施設を設立＞

2021年1月には、カキ事業者数社による合弁会社が、広島空港内にカキの出荷施設を立ち上げました。生ガキを入れておく水槽もあり、無菌状態で出荷まで保存ができます。また、出荷時期が決まってから収穫するので、鮮度の高いままの輸出が可能です。広島からシンガポールまでの直行便はありませんが、台湾経由での輸出が可能です。東京の空港からの出荷に比べて、早く届けられるといえます。

ぷりぷりの広島が生ガキ、多くのレストランに並んで、シンガポールの人たちに楽しんでもらいたいです。

## 「超高齢化を迎えるシンガポールの 健康寿命を延ばす取り組み」

周辺アジア各国も含め、数多くの市場・企業等調査業務実績を持つ。グループ会社の Crossborder Pte Ltd と二人三脚で、日本企業の M&A、現地パートナーシップ構築を準備段階である川上の調査から実施段階である川下のコンサルティング/アドバイザリーまでのサービスを提供。高い情報収集能力で企業の商談、進出、会社運営をきめ細かくサポート。



高齢化が急速に進むシンガポール。世界保健機関（WHO）によると、2019 年時点の平均寿命は 83.22 歳で、日本、スイス、韓国に次いで世界第 4 位。65 歳以上の占める割合は、2012 年の 11.1% から 2022 年には 18.4% に、さらに 2030 年には 23.9% まで増えると予想されています。政府は、さまざまな高齢化対策を講じてきましたが、最近取り組みを強化しているのが、予防医療です。

### ＜ホームドクターで予防医療＞

その最新の取り組みは、2023 年に導入された予防医療プログラム「Healthier SG」です。これは、住民がホームドクターと長期的な関係を築くことを目指す取り組みで、このプログラムに参加する公立や民間の総合診療所から自分のホームドクターを選び、体の状態に応じた健康診断、ワクチン接種、運動、食事などの健康づくりプランを提示してもらい、定期的にフォローしていくというものです。

まず 60 歳以上を対象に始まり、現在では 40 歳以上に広がりました。ホームドクターによる診察や国推奨の健康診断、予防接種にかかる費用は、政府が全額負担します。

### ＜「健康な生活」でポイント獲得＞

ただ寿命が延びても病弱な高齢者が増えては本人の生活の質が下がり、家族の負担、国の負担が増えます。このようなことにならないために、政府は健康的な生活を送るよう推奨する取り組みを以前から進めています。2015 年には、ウォーキングを推奨するための「National Steps Challenge」という仕組みを設けました。

この仕組みでは、参加者はまず「ヘルシー365」というアプリをダウンロードし、ウォーキングや運動をするとポイントがたまり、スーパーや飲食店の商品、鉄道やバスの交通費に交換することができます。歩数や運動量を把握する腕時計も政府が無償で配布しています。健康増進庁（HPB）が認証する「Healthier Choice」というマークがついた食品や飲料を購入した場合も、ポイントがたまる仕組みになっています。

### ＜各地で無料フィットネスプログラム＞

この「ヘルシー365」アプリでは、無料で参加できるヨガ、気功、ダンス、エアロビクスなどのフィットネスプログラムの予約をすることもできます。予算を出しているのは、HPB。これらのプログラムは住宅地やビジネス街などの公園や公民館などに加え、民間のフィットネススタジオなどあちこちで開催されていて、事前に予約をすれば誰でも参加できます。私が通っているヨガやダンススタジオでも、週に 5～6 時間は HPB のプログラムが行われています。

予防医療、ポイント付与、無料フィットネスと至れり尽くせりですが、目的は保健歳出の抑制です。高齢化とともに慢性疾患を持つ国民も増え、高血圧は国民の 32%、脂質異常症（高脂血症と高コレステロール）は 37% に上ります。

このまま生活習慣病が広がれば、歳出の拡大は免れません。多少の「アメ」を与えてでも健康を維持してもらうことが必須なのです。



【公園でヘルシー365の無料エクササイズに励む市民】

こちらの記事は、中国新聞 SELECT

「最前線ビジネスサポーター発」にも一部掲載されました。

## 「タイで売られる日本産？フルーツ」

在タイ歴24年。会社・駐在員事務所設立、BOI申請、ビザ・労働許可証、その他各種ライセンス・許認可申請・登記のサポート、労務・法務、コンサルティングを担う。セキュリティやIT会社、バイオ技術商社も含むグループ全体の管理を行い、タイでのビジネスをワンストップでサポート。



日本のタイ向け青果物輸出額は年々増加しており、それを裏付けるようにスーパーやデパートで日本産のいちご、りんごやシャインマスカットなどをよく目にするようになってきました。しかしスーパーなど実際の売り場を見ていると少し違和感を覚えます。それは日本原産であるはずのシャインマスカットやふじりんごが中国産として、日本産よりもずっと安く多数並んでいる点です。また同様に韓国産のシャインマスカットやいちごも高級フルーツとして、中国産よりは高く日本産よりも少し安い価格で売られています。違和感はそれだけではありません。中国産として並んでいる果物に日本語で「おいしい」や「世界に一つのりんご」などのシールが貼られているのです。タイの首都バンコクでは日本食チェーン店の進出が著しく、タイ人経営の屋台でも奇妙な日本語を冠した日本食を多く目にします。それだけ日本食と日本語に対する親近感の高まりを意味すると考えられますが、奇妙でもとりあえずそれらしい日本語を記載しておけば日本が長年培ってきた食の安全性や高い品質などのブランドイメージにあやかれると考えていると思われる。青果においてもそのような販売戦略なのではないでしょうか。

2月下旬にバンコク市内の大手スーパーマーケットで産地と値段、シールに記載された日本語をまとめてみました。

スーパーのBigCとTopsにおいて、りんごと梨は産地が明記されていないもののFood Landにおいて産地が明記されていた商品と包装、シールの形状・文言が似ているので、中国産のものと推察されます。産地が明確であればまだ良いのですが、明記されていなければ日本産のものと考えてしまうのが普通なので、日本のブランドイメージを守るためにも産地明記は標準化してもらいたいところです。



【バンコク市内のスーパーBigCにて撮影】

Food Land				
種類	商品名	産地	日本語シール	価格
りんご	Giant Apple	中国	世界に一つのりんご	89 B 約 370 円
	サンふじりんご	日本	サンふじ	139 B 約 576 円
梨	Snow Pear	中国	おいしい	75 B 約 311 円
BigC				
りんご	Premium Apple	記載なし	カリカリ甘く世界1位のりんご	59 B 約 245 円
梨	Golden Pear	記載なし	おいしい	89 B 約 370 円
Tops				
りんご	Premium Envy Apple	記載なし	カリカリ甘く世界1位のりんご	99 B 約 410 円
梨	Snow Pear	記載なし	おいしい	99 B 約 410 円



米国公認会計士。税理士法人及び米系企業経理部門での経験を経て、2012年に南インドのチェンナイに移住し、現地でのコンサルティング会社を設立。中小企業の会計・税務アドバイザー等多くの支援実績を持つ。現在はベンガルール在住。

## 「ユニコーン企業に見る インドのEコマース市場の最新動向」

### ＜Eコマース市場に影響を与えた政策＞

2023年から2024年にかけてのインドの国内総生産（GDP）は約3.56兆米ドルに達し、前年比で約9.1%の成長を見せました。国内のスタートアップ企業が急速に増加し、特に111社がユニコーン企業にまで成長したことも国の経済成長に大きく貢献している部分だと考えられます。このような企業活動の活発化は、新しい雇用機会を生み出し、国民の平均所得を押し上げる要因となっています。また、インド政府としては、2015年7月から国策としてデジタルインド政策を開始しており、その政策の中には、インド版マイナンバーである世界最大の生体認証システム「Aadhaar（アダール）」、統合決済インターフェース「UPI」、そして、データ強化と保護アーキテクチャ「DEPA」といった革新的なプラットフォームが含まれています。

### ＜Eコマース市場におけるユニコーン企業3社＞

ユニコーン企業とは、「非上場でありながら評価額が10億ドル（約1,500億円）以上のスタートアップ企業」のことを指します。日本においては、2024年現在でおよそ10社程度のユニコーン企業が存在しており、インドのユニコーン企業数と比較すると、インドの将来的な成長可能性が分かるかと思えます。ここでは三つのユニコーン企業を紹介します。

#### （1）インドEコマース市場を牽引するリーダー 「Flipkart（フリップカート）」

Flipkartは、インドのベンガルールに本拠地を置くEコマース企業であり、インドのオンライン小売市場における主要なプレイヤーの一つです。Flipkartの主な特徴として、使いやすいウェブサイトとアプリ、効率的な物流システム、広範囲に及ぶ商品カタログを提供することで、インドの多様な消費者ニーズに対応している点が挙げられます。

#### （2）ビューティーやウェルネスに特化した 「Nykaa（ナイカー）」

Nykaaは、2012年にインドのムンバイで設立されたEコマース企業です。この企業は、化粧品や美容製品を中心に、スキンケア、メイクアップ、ラグジュアリープロダクト、香水、ヘアケア、バス&ボディ製品などを扱っており、男性及び女性向けの製品を幅広く提供しています。Nykaaの主要な特徴の一つとして、自社ブランドの製品ラインを持っていることが挙げられます。2015年に始まったNykaa Cosmeticsプロジェクトにより、自社の美容製品コレクションの商品幅は、目、爪、顔、唇などあらゆる美容のカテゴリーに拡大しました。

#### （3）ベビー用品に特化した「FirstCry（ファーストクライ）」

FirstCryは、インドのプネに本拠を置くEコマース企業で、主にベビー用品の小売に焦点を当てています。2023年6月までの間に、インド全国で900以上のFirstCry及びBabyHug（ベビーハグ）ストアを展開してきました。アジア最大のベビー及びキッズ製品のオンラインストアとも言われており、2023年には200,000以上のユニークな製品、5,800以上のブランドを確立してきました。また、「FirstCry Parenting」というインド最大の親コミュニティでは、月間約1,300万人のアクティブユーザーと総計9,200万人の愛用ユーザーを獲得しています。



（出所：NYKAAのホームページ）

### 【「春節」における中国】

<回答者 公益財団法人ひろしま産業振興機構 上海事務所>

Q

「最近、中国の『春節』の様子がどうなっているか、詳しく教えてくださいませんか？」

A

上海市商務委員会によると、春節の8日間（大晦日、2024年2月9日から16日まで）の上海市のオンライン・オフライン消費額は569億元（約1.1兆円）に達しました。外来消費者（上海市民以外の消費者）の消費額は155.5億元（約3,192億円）で、前年同期比20%以上増加しました。飲食業消費は59.3億元（約1,200億円）で、前年同期比16.3%増加しました。データによると、35のビジネス地区におけるオフラインの旅客数は2,873万人で、前年同期比11.9%増加しました。春節期間中、上海の主要なショッピングモールはこの長い連休の機会に、美しい景観の展示、年越しバザールなどのビジネス、観光、文化、スポーツの連携マーケティング活動を実施し、消費潜在力がさらに活性化されました。

#### <春節期間における全国消費市場>

春節期間の消費市場を見てわかるのは、消費者がエコ、ヘルスケア、スマートテクノロジーをより一層追求し、これらが春節における新たな注目の3分野となったことです。春節期間で、砂糖不使用の菓子、ヘルスケアギフト、低脂肪スナックなどの売上が急伸び、省エネ家電、低炭素旅行などのエコ商品の売上が好調だったことは、人々の消費概念の変化、エコで健康的な消費の人気の高まりを反映しています。

一部の飲食店は、消費者のエコ消費の概念に沿って料理を小盛で提供し、コース内の料理を合理的に組み合わせることで、価格もより手頃になり、顧客に人気があるということです。

テクノロジーを生かした家電、例えば電動フロアワイパー、食洗機、スマートロックなどのホーム・インテリアの「新三種」、スマートウォッチ、ワイヤレスイヤホン、スマートグラスなどのウェアラブルデバイスの「新三種」などが、これから消費のポテンシャルをよりかき立てると予想されています。

さらに、春節期間の消費喚起のため、中国各地は消費券(デジタル割引クーポン券)を配布し、春節連休後も、市場の消費を刺激し続けています。四川省成都市では、街中で行われるイベントと消費券(デジタル割引クーポン券)を組み合わせることで商業地域の活気を維持しています。交子公園周辺の商業地域では、ファッショントレンドと街並みを組み合わせて、景観、展示、ストリートパフォーマンスなど多様なシーンが一体化した都市のオープンスペースを形成しています。春節連休後も大規模なイベントと会場での消費券(デジタル割引クーポン券)配布を組み合わせることで、多くの市民や観光客を惹きつけました。

参考：

①[569億元、上海の春節消費市場の最新状況](#)

②[春節の消費者動向から新年の中国経済を見る](#)

■本質問について詳しく知りたい方、具体的なご相談があれば、ひろしま産業振興機構国際ビジネス支援センター、もしくは広島上海事務所までお問い合わせください。



# ハッピーからのお知らせ

## 募集告知

## 令和6年度「国際実務取引研修」

貿易業務の初任者の方、担当者の方、これから習得される方やもう一度体系的に基本を学びたい方を対象に、貿易実務の基本体系と輸出入における重要なルールの解説と、貿易書類の読み方やトラブル対処法など、実践的で広範囲な実力を養う基礎研修を開催します。

広島会場日程については、会場受講・オンライン受講のいずれかを選択できるハイブリッド方式で実施します。

### ■ 開催日時・場所 ※各日、9:30~16:00 (昼休憩 12:30~13:30)

会場	日 時	場 所
広島会場	① 入門編 6月11日(火)	広島県情報プラザ (広島市中区千田町3-7-47)
	② 基礎知識編 7月9日(火)	
福山会場	① 入門編 6月12日(水)	福山商工会議所 (福山市西町2-10-1)
	② 基礎知識編 7月10日(水)	
オンライン	① 入門編 6月11日(火)	ZOOMによるライブ配信。
	② 基礎知識編 7月9日(火)	ビデオオンでご参加可能な方に限ります。

### ■ 研修内容

- ① 入門編：貿易実務全体の入門理解（EPAの現状、越境ECによる海外販売、間接貿易と直接貿易）、国際取引のカギとなる3つの要素、貿易条件とインコタームズ、外国為替と支払い条件、輸出コスト計算、船積書類と輸出入通関など
- ② 基礎知識編：輸出(海外営業)・輸入(海外調達)のトラブル、企業商習慣の差異、輸出代金回収リスク回避方法(貿易保険、信用状)など

### ■ 講師

国際法務株式会社 代表取締役 中矢一虎 氏



神戸大学法学部卒業後、住友商事株式会社に入社。パリ、ロンドンに駐在、主に化学品の取引に従事。これまで欧米、中国、アジア、アフリカ、中近東など世界80カ国以上を国際取引にて歴訪。現在、国際契約書の相談・作成や、企業の国際業務顧問・国際ビジネスコンサルティングを実施。大阪公立大学商学部講師、各種機関の講演会・研修会の講師として幅広く活躍。

《 4月中旬にウェブサイトです募集開始します 》

<https://www.hiwave.or.jp/purpose1/international/>